

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2023 年度の経過

2023 年度の報告をするにあたり、令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災されたすべての方に心からお見舞い申し上げます。

事業として、第37回リハ工学カンファレンス in 東京を、対面と Web との併用で開催することができました。東京大学を中心とした実行委員会、関東・甲信越支部の皆様、ありがとうございました。久しぶりの対面開催ということで多くの会員の参加もあり、継続的に対面開催を続けていければと考えています。5月には第38回リハ工学カンファレンス in 東海プレイベント・SIG 合同セミナーとして「ミライのモビリティと多様な暮らし方」を名古屋市内で開催しました。

福祉機器コンテストは、特別協賛、協賛企業様のご支援いただき、募集・第一次選考、第37回リハ工学カンファレンス in 東京での第二次選考・カンファレンス会場での表彰とすめました。厚生労働省、(公財)テクノイド協会の協力を得て、障害者自立支援機器「ニーズ・シーズマッチング交流会 2023」大阪会場に加えて、東京会場でもブース出展も実現しました。

協会誌は Vol.38 No.3 から Vol.39 No.2 まで 4 回発行しました。特集内容は多岐にわたり、論文投稿も増えました。電子化によるアクセスの向上も進みました。帝京平成大学の徳田良英氏に協会誌編集委員長を担っていただき、より円滑な運営を指向し、委員会内組織として、2つの小委員会を立ち上げていただきました。論文投稿がより柔軟な体制となったと感じています。投稿規定の改定もされました。協会員の皆様の積極的な投稿を期待しています。

分科会・専門委員会関連事業として、SIG(Special Interest Group)関連は基本的に内部化についての理解は得られました。いくつかの SIG で対面開催の講習会企画が開催されました。既に協会誌に参加報告が掲載されているものもあります。第37回リハ工学カンファレンス in 東京でも独自企画がありました。SIG の活動も、より多くなることを期待しています。

地域支部は Web 会議システムを利用して、企画した支部のイベントに、離れた地域からも参画できる仕組みが実証されました。単独での活動が激しい地域が生じています。各支部でできることを協会としても支えてゆきます。協会本部主導のイベント、リハエ ミライ・アッセンブリーと、さらなる連携を進めます。

災害対策は、常設となった災害対策委員会が継続して積極的に動きました。(一社)日本災害リハビリテーション支援協会 JRAT(Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team)と連動する意味は、大きいです。特に、(一社)日本義肢装具学会、(公社)日本義肢装具士協会とは、情報共有を継続的に確認し、適切な支援の継続を進めます。委員会主導では、第37回リハ工学カンファレンス in 東京での展示・ワークショップを開催しました。

企画推進事業は、リハエ ミライ・アッセンブリーを定期開催することが出来ました。対面開催イベントが再開され、出展者セミナーも継続的に対応することが出来ています。バリアフリー2024では、車いす SIG の企画で、テーマ「あなたは知っていますか？ 脊髄損傷者の車椅子の深層」を開催しました。事前登録制でしたが、当日参加の方も多く、好評であったと思います。

国際連携は、GAATO(Global Alliance of Assistive Technology Organizations)加盟団体として、総会、理事会に参加し、GAATO が進める支援機器の効果に関する国際的な検討、世界保健機構(WHO)との協力・連携事業にも積極的に参加してきました。タイでの国際会議時に現地参加は出来ませんでしたが、新たな連携調印をしました。

総務関連では、協会が一般社団法人としての内部に抱える課題を更に解消していきます。個人情報保護、特定商取引等、多くの懸案がありますが、より適切な活動を進めます。インボイスの解釈には、まだ戸惑う部分がありますが、対応は可能な状況になっています。適切な財務体制を、さらに徹底します。事務局の強靱化に関しても、電子化検討委員会を立ち上げ、検討を進めています。

以上、2023 年度の事業の概要について、ご報告させていただきました。

最後になりましたが、2021 年 10 月の個人情報管理の問題は、重ねてお詫び申し上げます。最終的な解決に向けて、進めております。あらためてご報告します。

理事会として対面開催をすることで、多くの問題解決することが出来ました。事業の推進を更に進めるために、活動を積極的にしてゆきます。これまでの会員の皆様の協力に感謝し、事業概要の報告を終わらせていただきます。

会長 河合 俊宏

1 社員・会員

1.1 法人社員・会員

2023年7月1日 正会員 556名(うち社員(代議員)66名)、学生会員 5名
賛助会員数 14社(45口)

2024年6月30日 正会員 548名(うち社員(代議員)65名)、学生会員 8名
賛助会員数 13社(43口)

2 事業

当協会の主たる事業は、リハ工学カンファレンスの開催、福祉機器コンテストの実施、協会誌の発行、SIG 活動及び委員会活動である。以下に、各事業の2023年度の活動を報告する。

2.1 リハ工学カンファレンス関連(担当理事:鈴木太・渡辺崇史・山田賀久)

(1)第37回リハ工学カンファレンス in 東京 開催

- ・テーマ:「リハ工学の先端で、インクルーシブ社会をさげふ」
- ・開催日:2023年8月24日(木)～26日(土)
- ・会場:東京大学先端科学技術研究センター(東京都)
- ・大会長:熊谷晋一郎氏(東京大学先端科学技術研究センター)
- ・実行委員長:並木重宏氏(東京大学先端科学技術研究センター)
- ・発表数 60 演題、参加者数 193 名

市民公開講座については、会場参加者数 85 名、オンライン参加者数 32 名
公開セッションについては、会場参加者数 72 名、オンライン参加者数 61 名

(2)第38回リハ工学カンファレンス in 東海 準備

- ・テーマ:出会いが生むミライ ～人とテクノロジーが紡ぐみんなの暮らし～
- ・開催日:2024年8月23日(金)～25日(日)
- ・会場:日本福祉大学東海キャンパス(愛知県)
- ・大会長:渡辺崇史氏(日本福祉大学)
- ・実行委員長:長束晶夫氏(なごや福祉用具プラザ)

2.2 福祉機器コンテスト関連(担当理事:村田知之)

(1)福祉機器コンテスト 2023

1)協賛

- ・特別協賛フランスベッド(株)はじめ、協賛企業 4 社の支援により実施

2)一次選考会の開催

- ・機器開発部門 応募 21 作品(会員 8 件、非会員 13 件)、前回は 26 作品
書類・ビデオ審査の後、2023年7月8日(土)を締切とした選考委員による投票により 11 件が一次選考会通過
- ・学生部門 応募 21 作品(会員 0 件、非会員 21 件)、前回は 16 作品
書類・ビデオ審査の後、2023年7月18日(火)を締切とした選考委員による投票により 11 件が一次選考会通過

3)二次選考会の開催

- ・機器開発部門・学生部門を選考委員参集及びWeb会議システムによるハイブリッド形式で開催
機器開発部門は、応募者によるプレゼンテーションおよび実機による審査を実施
学生部門は、実機による審査を実施
開催日:2023年8月25日(金)

4)発表および表彰

- ・第37回リハ工学カンファレンス in 東京のプログラム内(発表および表彰式)で、Web会議システムを併用したハイブリッド形式で実施
開催日:2023年8月26日(土)

5)展示、広報

- ・第37回リハ工学カンファレンス in 東京での機器開発部門及び学生部門一次選考会通過作品の展示
開催日:2023年8月24日(木)~26日(土)
会場:第37回リハ工学カンファレンス in 東京(東京都)
- ・第50回国際福祉機器展での入賞作品展示
開催日:2023年9月27日(水)~29日(金)
会場:東京ビッグサイト(東京都)
- ・ニーズ・シーズマッチング交流会(大阪会場)での受賞作品紹介
開催日:2023年11月27日(月)~29日(水)
会場:大阪マーチャндаイズ・マート(OMM)(大阪府)
- ・ニーズ・シーズマッチング交流会(東京会場)での受賞作品の展示とセミナーでの講演
開催日:2023年12月12日(火)~14日(木)
会場:東京都立産業貿易センター(東京都)
- ・協会ホームページへの掲載
- ・会員メーリングリストでの配信
- ・協会誌への掲載
- ・SNS協会公式アカウントへの掲載
- ・キッズフェスタ2024(広報のみ)
開催日:2024年4月20日(土)~21日(日)
会場:東京流通センター第一展示場(東京都)
- ・バリアフリー2024(展示・広報)
開催日:2024年4月17日(水)~19日(金)
会場:インテックス大阪(大阪府)

(2)福祉機器コンテスト2024

- 1)福祉機器コンテスト2024事務局の設置 2024年3月1日(金)
- 2)選考委員会の設置 2024年4月1日(月)、選考委員の依頼
- 3)後援団体への後援名義使用申請、企業への協賛依頼
- 4)広報開始 2024年4月中旬から
- 5)募集期間
 - ・機器開発部門:2024年5月1日(水)~2024年6月24日(月)
 - ・学生部門:2024年5月1日(水)~2024年7月8日(月)
- 6)申込数
 - ・機器開発部門:15件(会員3件、非会員12件)
 - ・学生部門:申込期間中

- 7)後援団体、協賛企業との各種調整
- 8)福祉機器コンテスト 2024 事務局との各種調整
- 9)展示、広報

- ・協会ホームページへの掲載
- ・会員メーリングリストでの配信
- ・協会誌への掲載
- ・SNS 協会公式アカウントへの掲載
- ・キッズフェスタ 2024(広報のみ)
開催日:2024年4月20日(土)~21日(日)
会場:東京流通センター第一展示場(東京都)
- ・バリアフリー2024(展示・広報)
開催日:2024年4月17日(水)~19日(金)
会場:インテックス大阪(大阪府)

(3)コンテスト発展のための取組み

- 1)Web 会議システムの活用
- 2)運営方法の見直し
- 3)広報戦略の検討

2.3 協会誌関連(担当理事:植田瑞昌・小島みさお・石濱裕規)

(1)協会誌編集委員会

年4回協会誌の発行に合わせて必要に応じて委員会を開催した。新型コロナ禍の対応が変更になったため、任期中4回のうち初めと終わりの2回は対面での開催を行った。

(2)協会誌発行

以下について、企画・準備・発行を実施した。

- ・Vol.38 No.3 2023年8月発行 特集「可能性を広げる電動車椅子」
- ・Vol.38 No.4 2023年11月発行 特集「入浴ケアの可能性」
- ・Vol.39 No.1 2024年2月発行 特集「障がい者がスポーツとレクリエーションから得られる well-being」
- ・Vol.39 No.2 2024年5月発行 特集「リハビリテーション領域におけるウェアラブル・ノンウェアラブルデバイスの活用」

(3)投稿論文(査読依頼)

2023年度投稿6件の査読者選定・(再)査読依頼・結果通知を進めた。

- ・投稿論文については、査読論文小委員会にて査読者を選定・依頼
- ・2024年4月から投稿規定が改訂され、年4回の締め切りを設けたため、委員会をあらかじめ設定することができ、迅速に対応が可能となった。

(4)協会誌の段階的電子化

- ・協会誌電子化作業のうち J-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム)搭載を(株)ジェイピーシーに依頼し、1年間は認証付きで、1年を経過したものはフリー公開としている。さらにバックナンバーを順次掲載している。
- ・今般の郵送費の高騰(送料の倍増)と電子ジャーナルにおける情報保障、SDGsの観点から紙媒体での発行について、協会誌発行回数の見直し及び電子化も含め見積もりを依頼するなど検討を行っている。

(5)協会誌編集委員会事務局委託

協会誌編集委員会事務局幹事を松田健太氏(神奈川県総合リハビリテーションセンター)に委託

(6)その他

2.4 分科会(SIG)(担当理事:桂律也)

(1)SIG 活動支援 (各SIGの活動報告を別紙1に記す)

2023年度は、SIG 講習会などの活動も活発になり、協会誌やホームページへの掲載などの広報活動の支援を実施した。また、リハ工 ミライ・アッセンブリー及びリハ工学カンファレンス、カンファレンスプレイベントなどの協会主催事業に対する各 SIG の協力要請も実施した。

(2)協力 SIG の内部化促進

姿勢保持、車いす、コミュニケーション、住まいづくりの協力 SIG について、内部化の検討手続き支援を継続

2.5 分科会(支部)・専門委員会(担当理事:小島みさお・植田瑞昌)

(1)支部活動への支援 (各支部の活動報告を別紙2に記す)

- ・各支部ではリハ工学に関わる人的ネットワークを構築できるよう、協会誌やホームページで支部の活動情報を掲載し、会員への周知を図った。各支部で活動状況に差があるので、本部や他の委員会と協力し、さらなる支部活動への支援を積極的に行った。
- ・継続的な活動が行えるよう、活動経費として支部活動金の配分を行った。
- ・活発な活動が行えた支部については、随時、協会誌またはホームページにて活動報告を行った。
- ・活動が行えていない支部もあり、体制の構築に向けて検討を行った。
- ・支部活性化のための情報発信の簡便化や効率化などについて検討した。

(2)リハ工 ミライ・アッセンブリー等イベント協力

- ・第4回、第5回リハ工 ミライ・アッセンブリーの開催に向けて協力をを行った。
- ・ニーズ・シーズマッチング交流会、バリアフリー(展示会)等のイベント協力を行った。

(3)2024年度活動計画

次年度の活動計画を作成した。カンファレンスにて、地域支部メンバーの交流をし、活動を行えていない支部の体制構築に向けて、イベントを行うなどの検討を行っている。

2.6 企画推進事業(企画担当理事:伊佐拓哲・中村詩子)

(1)リハ工 ミライ・アッセンブリー等の開催

1)第4回リハ工 ミライ・アッセンブリー開催

- ・テーマ:「障害者と災害を考える」
- ・開催日:2024年1月8日(月) 16:00~17:00
- ・会場:加瀬の会議室 新横浜ホール(神奈川県) 及び オンライン
- ・講師:河合俊宏氏(代表理事)
沖川悦三氏・佐藤史子氏・麩澤孝氏(関東・甲信越支部)
伊佐拓哲氏(企画推進事業担当理事)

- ・参加:会場6名 オンライン17名

2)第38回リハ工学カンファレンスin東海プレイベントSIG合同セミナー開催

- ・テーマ:「ミライのモビリティと多様な暮らし方」
- ・開催日:2024年5月12日(日) 13:00~16:00
- ・会場:なごや福祉用具プラザ研修室(愛知県) 及び オンライン
- ・講師:小林博光氏(車いすSIG)、麩澤孝氏(乗り物SIG)、新妻淳子氏(SIG褥そう防止装置)
- ・参加:会員15名、非会員4名、学生4名 (オンライン含む)

3)第5回リハ工 ミライ・アッセンブリー開催

- ・テーマ:「令和6年能登半島地震中間報告」
- ・開催日:2024年6月21日(金) 18:30~19:50
- ・会場:北海道科学大学(北海道) 及び オンライン
- ・講師:河合俊宏氏(代表理事)、桂律也氏(東日本支部)、伊佐拓哲氏(企画推進事業担当理事)
- ・参加:会場6名、オンライン21名

(2)研修企画委員会

- ・随時イベントに合わせ企画、打ち合わせを実施

(3)バリアフリー2024出展者セミナーの開催

- ・テーマ:「あなたは知っていますか? 脊髄損傷者の車椅子の深層」
- ・開催日:2024年4月18日(木) 12:30~13:30
- ・会場:インテックス大阪(大阪府)
- ・講師:沖川悦三氏・松田靖史氏(車いすSIG)
- ・参加:80名

2.7 事業統括事業(事業統括担当理事:金井謙介・中村俊哉)

(1)学会展示会、広報活動強化

1)第50回国際福祉機器展(H.C.R.2023)へ出展

- ・開催日:2023年9月27日(水)~29日(金)
- ・会場:東京ビッグサイト東展示ホール(東京都)
- ・協力支部:関東・甲信越支部

2)ニーズ・シーズマッチング交流会2023へ出展

- ・開催日:大阪会場 2023年11月27日(月)~29日(水)、東京会場 2023年12月12日(火)~14日(木)
- ・会場:大阪マーチャндаイズ・マート(OMM)(大阪府)、東京都立産業貿易センター浜松町館(東京都)
- ・協力支部:関西支部、関東・甲信越支部

3)バリアフリー2024へ出展

- ・開催日:2024年4月17日(水)~19日(金)
- ・会場:インテックス大阪(大阪府)
- ・協力支部:関西支部

(2)セミナー開催

①第50回国際福祉機器展(H.C.R.2023)で出展社セミナーを実施

- ・テーマ:「最先端の福祉用具紹介~福祉機器コンテスト2023から~」
- ・開催日:2023年9月27日(水) 12:30~13:30
- ・講師:村田知之氏(福祉機器コンテスト担当理事)
- ・参加:29名

②ニーズ・シーズマッチング交流会2023にてセミナーを実施

- ・テーマ:「福祉機器コンテスト2023受賞作品の紹介」
- ・開催日:2023年12月13日(水)
- ・講師:村田知之氏(福祉機器コンテスト担当理事)

③バリアフリー2024でプレゼンテーションセミナーを実施

- ・テーマ:「あなたは知っていますか? 脊髄損傷者の車椅子の深層」
- ・開催日:2024年4月18日(木) 12:30~13:30

- ・会場:インテックス大阪(大阪府)
- ・講師:沖川悦三氏、松田靖史氏(車いすSIG)
- ・参加:80名

(3)情報保障の拡充

第37回リハ工学カンファレンス in東京における市民公開講座「ハンセン病問題から学ぶ」と公開セッション「働くことの「当事者研究」」でUDトーク(リアルタイム文字変換)を活用した情報保障を実施

2.8 国際関連の事業(担当理事:森田千晶・桂律也)

(1)国際関連団体との相互協定に基づく交流

1)GAATO(Global Alliance of Assistive Technology Organizations)

- ・理事派遣:国際関連推進委員会の井上剛伸氏(国立障害者リハビリテーションセンター)、桂律也氏(国際担当理事)がオンラインにて参加し、運営に関与
- ・年会費:500スイスフラン

2)アジアリハ工学連携会議(CREATE Asia: Coalition on Rehabilitation Engineering and Assistive Technology, Asia)

- ・国際推進委員会委員の相良二郎氏を通じて、CREATE Asia 事務局からの情報(メール)受信しi-CREATE2024、およびGAATOとのMOU(Memorandum of Understanding)についての情報をホームページと協会誌にお知らせとして掲載

3)その他

- ・第17回 韓国福祉工学学術大会開催情報を協会ホームページと会員メーリングリストにて情報提供

(2)国際関連推進委員会の開催

メール審議を必要時に適宜行った。

- ・CREATE Asia よりi-CREATE2025の開催に関して、当協会主催で日本での開催を打診されたが、委員会にて現状では困難と判断し辞退することを通知
- ・AAATE(Association for the Advancement of Assistive Technology)よりGAATOを通じてGlobal Think Tankへの参加呼びかけに対して、当委員会委員の井上剛伸氏と山内閑子氏(産業技術総合研究所)2名を登録

2.9 災害対策関連(担当理事:早川康之)

(1)災害対策委員会活動

- ・災害対策委員会が持っている案件を解決するための委員会活動を活性化するとともに、令和6年能登半島地震への対応について検討
- ・運営体制については、災害対策委員会委員に加えて、本年度は支部担当理事にも会議に加わっていただき、支部活動における当協会独自の災害対策、及び(一社)日本災害リハビリテーション支援協会 JRAT、地域JRATとの連携方法について検討
- ・Web会議システムにより7回実施

(2)災害対策セミナー等の開催

- ・八王子いちよう祭りでの展示、体験会を予定していたが、申し込み時期、協力者との調整が難しく辞退
- ・8月24日(木)、25日(金)に、第37回リハ工学カンファレンス in 東京内で、災害対策セミナーを開催

(3)災害対策マニュアルの作成

- ・2023年度には災害対策マニュアル(防災マニュアル)についてワーキンググループにより検討
現在は各方面のホームページ情報の収集を進めている。

(4)他団体との協働

- ・JRATの理事会及び各種委員会活動へ参加
- ・都道府県単位の地域JRATの活動への参加については、参加方法について十分な検討は進んでいない。当協会会員数や、地域JRATとの地域区分、当協会による活動内容など、解決しなければならない事項が多い。
- ・令和6年能登半島地震のJRAT活動への協力については、JRAT東京本部へのロジスティクス(後方支援)人員派遣を行った他、段ボールテーブルとイス(だんて、だんちえ)の石川本部への提供を仲介
- ・当協会の特長を生かせる災害対策を求める団体との協働については、検討段階であり、大きな進捗はなかった。
- ・他団体の災害関連イベントへの協力は今年度実施しなかった。

3 総務

3.1 選挙・規則(担当理事:江原喜人・桂律也)

(1)2023年度代議員選挙・役員候補者選挙

- ・代議員および役員任期満了に伴いWeb選挙システムによる代議員選挙、役員候補者選挙の実施

(2)規定の整備

- ・各種規則等の規定状況を確認し、運用上の問題点や改訂の必要性等について検討

3.2 財務(担当理事:江原喜人・桂律也・金井謙介・岡野善記)

(1)法人会計の管理

- ・2022年度決算の実施および決算書作成
- ・2023年度決算の実施
- ・2024年度予算案の作成
- ・カンファレンス貸付金の確認および修正
- ・インボイス制度への対応

(2)分科会・支部の連結決算の準備

- ・分科会・支部の会計状況の把握
- ・会計システムの再構築および統合準備

3.3 総会・理事会(担当理事:北野義明・江原喜人・中村詩子)

(1)2023年度社員総会

- ・2023年度定時社員総会

開催日:2023年8月25日(金) 12:20~13:31

会場:東京大学・先端科学技術研究センター(東京都目黒区駒場4-6-1)

- ・2023年度臨時社員総会

開催日:2023年9月27日(水) 18:30~18:48

会場:豊洲文化センター(東京都江東区豊洲2-2-18)

(2)2023年度理事会

- ・第1回(通算第84回) 2023年7月23日(日) (Web会議)
- ・第2回(通算第85回) 2023年8月21日(月) 臨時理事会 (Web会議)
- ・第3回(通算第86回) 2023年9月27日(水) 臨時理事会 (対面及びWeb会議)
- ・第4回(通算第87回) 2023年10月8日(日) (対面及びWeb会議)
- ・第5回(通算第88回) 2023年12月10日(日) (対面及びWeb会議)
- ・第6回(通算第89回) 2024年3月3日(日) (Web会議)
- ・第7回(通算第90回) 2024年3月19日(火)~29日(金) 臨時理事会 (電磁的手段)

・第8回(通算第91回) 2024年6月2日(日) (対面会議)

(3) 2024年度社員総会の準備

2024年度定時社員総会の開催について、各理事に「2023年度事業報告」及び「2024年度事業計画書・予算要求書」の提出を依頼し、「2023年度事業報告(案)」及び「2024年度事業計画(案)」を作成

3.4 広報・渉外(担当理事:小林博光・鈴木太・杉本昌子)

(1) 協会リーフレット印刷

国際福祉機器展(H.C.R.)やバリアフリー(展示会)等で広報するための「協会リーフレット」の内容を更新、印刷し、各イベントで配布

(2) Web会議システム利用

Web会議システムを活用し、移動にかかる制約や負担の少ない理事会運営やイベント開催を実現

(3) データの共有化

インターネット上ストレージを利用してデータの共有化による理事運営の効率化を実現

(4) サーバーの移行

メール、Webサーバーは機能と価格のバランスを考慮し、従来とは別のサーバーへ変更した。以前のWebデータはほぼそのまま移行し、適宜内容を更新追加した。メール、メーリングリストも同様に移行し、メールはこれまでと同じアドレスを実現できた。適宜新規メールアドレスを追加した。メーリングリストは多少アドレスが変更になったが登録作業は担当理事が行ったため影響はなかった。

(5) Web管理委員会の運営

Web管理委員会(ホームページ管理委員会)は、内容がWebにとどまらないため、「ICT管理委員会」と名称を変更し、前述のサーバー変更にかかる検討や協議を行った。

4 事務局(事務局統括理事:江原喜人)

(1) 事務局運営

法人としての事務局を運営し、法人会計の更なる整備を進めた。

(2) 会員情報管理システム導入検討

協会の全体予算に対して大き過ぎる年間利用料を考慮し、2022年度に引き続きシステム導入を見送った。システムに関する情報収集や調査、検討は継続的に行った。

(3) 展示会出展における広報活動

2023年9月27日(水)～29日(金)に東京都にて開催された第50回国際福祉機器展(H.C.R.)に出展し、ブースにおける広報活動を行った。

5 後援・協賛事業

2023年度は以下の事業の後援・協賛を行った。

No.		団体名	開催日	内容
1	後援	(NPO) バイオフィリアリハビリテーション学会	2023年7月8日(土)～9日(日)	第27回バイオフィリアリハビリテーション学会大会
2	協賛	(NPO) ヒューマンインタフェース学会	2023年9月6日(水)～8日(金)	ヒューマンインタフェースシンポジウム2023
3	協賛	(一社) 日本機械学会(幹事学会)、(一社) ライフサポート学会、(一社) 日本生活支援工学会	2023年9月19日(火)～21日(木)	LIFE2023
4	後援	(一社) 日本福祉のまちづくり学	2023年9月29日(金)	日本福祉のまちづくり学会 第26回全

		会	～10月1日(日)	国大会
5	後援	(NPO) ケアリフォームシステム研究会	2023年10月14日(土)	ケアリフォームシステム研究会 全国大会 in 愛知
6	後援	(一社) 日本作業療法士協会	現地開催 2023年11月10日(金) ～12日(日) オンデマンド配信 2023年11月13日(月) ～12月17日(日)	第57回日本作業療法学会
7	協賛	(公社) 計測自動制御学会	2023年12月14日(木) ～16日(土)	第24回SICEシステムインテグレーション部門講演会
8	協力	経済産業省製造産業局	2024年2月19日(月) ～4月12日(金)	第11回ロボット大賞
9	後援	第5回福祉用具専門相談員研究大会	2024年6月19日(水)	第5回福祉用具専門相談員研究大会
10	協賛	(一社) 日本人間工学会	2024年6月23日(日) ～24日(月)	日本人間工学会 第65回大会

【別紙1】

2023年度 SIG 活動報告

※SIG 会員数(協会員数)は2024年6月1日現在

SIG 姿勢保持 会員数 24 名 <http://www.resja.or.jp/posi-sig/>

代表者:繁成剛氏(長野大学) 事務局長:中村詩子氏(横浜市総合リハビリテーションセンター)

- ・講習会開催 2023年7月22日(土)~23日(日) アンピールホテル大阪(大阪府) 及び オンライン
参加:対面77名 オンライン91名 計168名 (うちSIG会員31名・協会員3名、会員外134名)
- ・資料集販売、ホームページ運営

車いす SIG 会員数 38 名 <https://www.wheelchair-sig.jp/>

代表者:沖川悦三氏(神奈川県総合リハビリテーションセンター) 事務局長:深野栄子氏

- ・役員会開催
- ・車いす SIG 講習会開催 2023年11月18日(土)~19日(日) プロミティ厚木(神奈川県) 及び オンライン
参加:対面34名 オンライン9名
- ・Web サイト運営、分科会(BOG)活動、大規模災害復興支援
- ・(一社)日本車椅子シーティング協会車椅子姿勢保持基礎講習会(障害分野)の共催
- ・リハ工学カンファレンスでの座長、SIG セッション等の協力
- ・カンファレンスイベントでのパネリストほか、当協会事業への協力
- ・講習会テキストのバックナンバー・関連書籍の頒布
- ・車いす SIG 設立 35 周年・講習会 30 周年・開催 50 回記念誌の発行
- ・文化財(昭和初期と思われる車椅子)調査依頼の対応

自助具 SIG 会員数(Facebook グループ登録者)46 名 ホームページなし

代表者(事務局兼務):岡田英志氏(ヒューマン)

- ・3D プリンター研究会による第37回リハ工カンファレンスでの SIG セッション開催
- ・Facebook で自助具関連の情報発信

乗り物 SIG 会員数 5 名 <https://ameblo.jp/sunrise.jp007/>

代表者:麩澤孝氏((有)セカンドステージ) 事務局長:片石任氏((株)フロンティア)

- ・パネルディスカッション「今を楽しむ電動車いす」
2024年3月10日(日) 練馬区立区民産業プラザ(東京都) 参加:45名
- ・SIG ブログの更新、充実、情報提供・発信、セミナー開催
- ・カンファレンスイベントでのパネリストほか、当協会事業への協力

SIG 褥そう防止装置 会員数 10 名 <http://www.resja.or.jp/sig-pmps/>

代表者(事務局兼務):新妻淳子氏(国立障害者リハビリテーションセンター研究所)

- ・LIFE2023にてオーガナイズド・セッション『人体ダミーやシミュレーションを用いたヒト代替研究』(2023年9月20日)を企画開催
- ・リハ工学カンファレンス in 東京において、SIG について紹介
- ・カンファレンスイベントでのパネリストほか、当協会事業への協力

コミュニケーションSIG 会員数 11 名 ホームページ改修中

代表者: 2023 年 8 月 5 日より不在 事務局長: 上野忠浩氏(横浜市総合リハビリテーションセンター)
・ホームページ改修作業

SIG 住まいづくり 会員数 31 名 www.sig-sumai.info

代表者: 橋本美芽氏(東京都立大学) 事務局長: 鈴木基恵氏(横浜市総合リハビリテーションセンター)
・見学会開催「国立競技場ナイトツアー パラリンピックのなごりを楽しむ」2023 年 8 月 23 日(水)
講師: 佐藤克志氏(日本女子大学) 参加: 9 名

特別支援教育 SIG 会員数 5 名 ホームページなし

代表者: 松田靖史氏(川村義肢(株)) 事務局長: 高原光恵氏(鳴門教育大学)
・協会事業への協力:
リハ工学カンファレンス in 東京において、学校支援事例(障害理解教育)報告
・特別支援関連資料の収集、広報データの準備

移乗 SIG 会員数 14 名 HP なし(開設予定)

代表者: 古田恒輔氏(神戸学院大学) 事務局長: 青木久美子氏(フリーランス)
・リハ工学カンファレンス in 東京において、移乗 SIG 設立報告、紹介、広報活動
・移乗 SIG イベント実施 2023 年 8 月 25 日(金) リハ工学カンファレンス in 東京にて
テーマ:「リフトの基本的使い方と吊り具装着技術」
「笑顔が見える!一般的な振袖をリフトを用いて車椅子上で着付け」
・役員会の開催 3 回

義肢装具 SIG 会員数 25 名 <https://resja.or.jp/po-sig/>

代表者: 笹川友彦氏(熊本総合医療リハビリテーション学院) 事務局長: 砂野義信(フリーランス)
・義肢装具 SIG ホームページ運営

【別紙2】

2023年度 支部活動報告

東日本支部

(1)事業概要

支部活動のための体制の構築が困難な状況が続いた。引き続き会員への情報発信ができるように検討を行う。
支部会員への事務連絡郵送の準備を行った。

(2)主要事業

第5 回リハ工 ミライ・アッセンブリーの運営協力

- ・テーマ:「令和6年能登半島地震被災地へのリハビリテーション工学支援中間報告」
- ・開催日: 2024年 6月21日(金) 18:30~20:00
- ・会場:北海道科学大学(北海道) 及び オンライン
- ・共催:北海道科学大学、北海道 JRAT(DoRAT)

関東・甲信越支部

(1)事業概要

関東・甲信越支部では、東京大学・先端科学技術研究センター(東京都)を会場に開催された第37 回リハ工学カンファレンスの運営に携わり、カンファレンス実行委員会と連携しリハビリテーション工学に関わる研究や情報の普及・啓発を図った。その他、関東で開催された多数の展示会およびセミナーの運営協力を行った。

(2)主要事業

①第37 回リハ工学カンファレンス in 東京運営の協力

- ・開催日: 2023年 8月24日(木)~26日(土)
- ・会場:東京大学・先端科学技術研究センター(東京都)

②第4 回リハ工 ミライ・アッセンブリーの運営協力

- ・開催日: 2024年 1月8日(月) 16:00~17:00
- ・会場:加瀬の会議室 新横浜ホール(神奈川県)

③乗り物 SIG パネルディスカッション「今を楽しむ電動車いす」の運営協力

- ・開催日: 2024年 3月10日(日) 13:30~16:30
- ・会場:練馬区立区民産業プラザ(東京都)

(3)他学会等の事業への後援・協賛・協力

①第50 回国際福祉機器展ブース運営の協力

- ・開催日: 2023年 9月27日(水)~29日(金)
- ・会場:東京ビッグサイト(東京都)

②自立支援機器ニーズ・シーズマッチング交流会 2023(東京会場)ブース運営の協力

- ・開催日: 2023年 12月12日(火)~14日(木)
- ・会場:東京都立産業貿易センター浜松町館(東京都)

中部支部

(1)事業概要

中部支部では、支部セミナーとしてハンズオンワークショップを開催し、リハビリテーション工学に関わる研究や情報の普及・啓発を図った。さらに、中部地区での第38 回リハ工学カンファレンス開催に向けて実行委員会を設立した。そして、当該カンファレンスのプログラムの立案、併設行事となる市民公開講座等の企画を行った。

(2)主要事業

1)支部セミナーの開催

ハンズオンワークショップの開催

- ・テーマ:「デジタルものづくりワークショップ ～3D プリンターで自助具製作～」
- ・開催日: 2023年 7月 9日(日)13:30～17:30
- ・会場:なごや福祉用具プラザ(愛知県)
- ・講師:渡辺崇史氏(日本福祉大学)、なごや福祉用具プラザ職員
- ・参加:14名

2)第38回リハ工学カンファレンス開催に向けた実行委員会の設立

- ・中部支部の会員を中心に組織した。

(3)その他

支部役員会の開催

- ・開催日: 2023年 8月 18日(金) 20:00～21:00、2023年 9月 2日(土) 19:30～21:00 Web会議
- ・内容:第38回リハ工学カンファレンス実施に向けた打ち合わせ

関西支部

(1)事業概要

関西支部では、2023年度はバリアフリー2024 出展と、ニーズ・シーズマッチング交流会 2023(大阪)への協力を行った。また、支部セミナーを2回実施した。

(2)主要事業

1)関西支部セミナーの開催

- ・テーマ:「車椅子使用者の円滑な航空機利用について」
- ・開催日:2024年 2月 23日(金・祝)13:00～15:00
- ・会場:神戸学院大学神戸三宮サテライト
- ・講師:剣持悟氏、宮野秀樹氏、半田隆志氏
- ・参加:52名(うちオンライン参加 31名)
- ・テーマ:「障害のある人の生活を支える制度を知る～事故による障害～」
- ・開催日:2024年 5月 18日(土)13:00～15:00
- ・会場:神戸学院大学神戸三宮サテライト
- ・講師:西田敦氏、藤本一郎氏、武藤俊之氏
- ・パネルディスカッション:藤本一郎氏、武藤俊之氏、宮野秀樹氏、玉野明博氏
- ・コーディネーター:林威智郎氏
- ・参加:52名(うちオンライン参加 27名)

2)バリアフリー2024 ブース運営協力

- ・開催日:2024年 4月 17日(水)～19日(金) 10:00～17:00
- ・会場:インテックス大阪
- ・内容:支部スタッフの派遣

3)ニーズ・シーズマッチング交流会 2023 大阪会場出展協力

- ・開催日:2023年 11月 27日(月)～29日(水) 9:00～17:00
- ・会場:大阪マーチャндаイズ・マート(OMM)(大阪府)
- ・内容:福祉機器コンテスト入賞作品の展示スタッフの派遣

4)その他

支部役員会の開催

①開催日:2023年9月20日(水) 18:00~19:30 Web会議

内容:新役員承認、副支部長交代、次年度活動内容、支部活動活性化、協会誌掲載内容について

②開催日:2024年5月27日(月) 18:00~20:00 Web会議

内容:関西支部セミナーの振り返り、次年度の事業計画と今年度経費のまとめ、支部長の選任と役員体制、2025-26年度のカンファレンス開催について

中国・四国支部

支部活動のための体制の構築が困難な状況が続き、特別な活動ができなかった。

九州支部

(1)事業概要

インターネットラジオ配信を実施し、リハビリテーション工学に関わる情報や知識の普及・啓発を図った。

(2)主要事業

インターネットラジオ配信

スタンドFMにて配信(<https://stand.fm/>)

開催日:2024年4月より配信開始(5月14日時点で5回放送)

(3)その他

支部役員会の開催

開催日:案件がある場合に都度開催 メーリングリスト上

内容:事業報告・決算報告、次年度の事業計画案・収支予算案について